

会員各位

第 1 期事業報告書および第 2 期事業計画書の送付

平素格別なるご厚情を賜り深く御礼申しあげます。

一般社団法人日本薬局経営学会第 1 期事業報告書および第 2 期事業計画書がまとまりましたので、皆様にご連絡をさせていただきます。

近年薬局を取り巻く環境は大変厳しい状況にあると言えます。「偽造薬問題」や「不正請求問題」など、同業企業における悲しい事件も取り沙汰されております。次回医療介護同時改定に向け、より一層世間からの注目を浴びる業界だと思っております。まだまだ小さな団体ではございますが、皆様と一緒に襟を正し、薬局・薬剤師が活躍できる世界を作っていきたいと考えております。

引き続きご協力のほど、よろしくお願いいたします。

記

第 1 期事業報告書および第 2 期事業計画書 . . . 1 部

以上



【お問合せ】

一般社団法人日本薬局経営学会

事務局担当 駒形 公大

TEL : 03-5829-6659

E-mail : jimukyoku@jamps.club

第 1 期事業報告および第 2 期事業計画

一般社団法人 日本薬局経営学会



会員各位

第1期を終えて

一般社団法人 日本薬局経営学会
代表理事 徳吉 淳一

葉桜の候、皆様におかれましてはご健勝のことと存じます
日ごろより当学会の運営に多大なるご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

2期目を迎えた JAMPS ですが、昨年は、アンケート調査からはじまり後発医薬品の変更不可に関する調査、健康保険組合連合会理事であり中央社会保険医療協議会委員である幸野庄司氏と2回にわたり意見交換会を行うなど、少しずつではありますが活動をしてまいりました。

本年は、以下の3つを当学会の活動目的と再度皆様と共通認識し活動を行っていきたいと考えております。

「保険薬局の価値の創出」 「保険薬局経営の健全化」 「社会保障制度への提言」

取り急ぎ本年最初のアンケート調査を行うべく、現在会員の皆様に「今後調査を行いたい項目」に関する意見調査を行っております。また、「一般社団法人日本薬学生連盟」との連携を行い、採用支援活動を行うことも視野に入れております。そのほか、エリアごとの新入社員合同研修会の企画等を考えており、これらを実現するためのワーキンググループを立ち上げております。

以上のように、厳しい業界に対する向かい風に負けないよう、活発に活動を行っていきたいと考えております。皆様ご協力の程、宜しくお願い致します。

【一般社団法人 日本薬局経営学会 法人会員リスト】

平成29年4月25日現在

	企業名	都道府県
1	株式会社Kaeマネジメント	東京都
2	有限会社徳吉薬局	鳥取県
3	上別府グループ調剤薬局	宮崎県
4	有限会社ウエサカ薬局	埼玉県
5	有限会社ゴードカンパニー	広島県
6	株式会社小松薬局	広島県
7	株式会社ドラッグしみず	広島県
8	株式会社サティスファーマ	鹿児島県
9	有限会社グリーンリーフ	愛知県
10	株式会社永富調剤薬局	大分県
11	株式会社ダイナ・メディカル	福岡県
12	有限会社桂林	新潟県
13	株式会社ハートフルメディカル	東京都
14	マリン薬局株式会社	広島県
15	株式会社アルティ・グローバル	北海道
16	有限会社岡本芸南堂薬局	広島県
17	株式会社ショーワ薬局	奈良県

【賛助会員リスト】

	企業名	都道府県
1	株式会社リンクメディカルダイレクト	広島県

第1期 事業報告

(2016年1月1日～2016年12月31日)

【団体概要】

団体名	一般社団法人日本薬局経営学会				代表理事	徳吉 淳一
住所	東京都台東区浅草橋3丁目1番1号 TJビル3F				事務担当	駒形 公大
会員数	個人会員	23名	法人会員	16社	賛助会員	1社

【第一期事業内容】

1. 会員数について

2016年1月19日法人設立のため、概要内会員数が増加した。

2. 組織編制

法人設立後、徳吉淳一を代表理事、駒形公大を事務局担当に任命した。設立時総会にて、小倉義広を代議委員に選出した。調査分析委員会を立上げ、上坂理、大谷嘉嗣、伊藤裕嗣を委員に任命した。

《組織》

代表理事 徳吉 淳一 有限会社徳吉薬局 取締役
理事 上別府 正悟 上別府グループ調剤薬局 代表取締役
理事 上坂 理 有限会社ウエサカ薬局 代表取締役
理事 駒形 公大 株式会社Kae マネジメント 常務取締役 (事務局担当)
監事 丸野 桂太郎 有限会社マルノ薬局 代表取締役

代議員 小倉 義広 株式会社サティスファーマ 代表取締役

調査分析委員

上坂 理 同上
大谷 嘉嗣 有限会社 仁成堂 専務取締役
伊藤 裕嗣 株式会社メイプルファーマシー 取締役

3. 調査分析について

2016 年 7 月、当学会として初めてのアンケート調査を実施

「診療報酬改定に伴うアンケート調査」

会員および協力企業を含め、28 社 270 店舗より情報を収集した。

2017 年 1 月、次回医療介護同時改定に向けた調査事業を開始

「変更不可処方割合に関する調査分析」

(2017 年 3 月集計および分析の終了)

4. 提言等

「診療報酬改定に伴うアンケート調査」の概要書を以下の機関に郵送提出を行った。

- ・厚生労働省 薬剤管理官宛
- ・健康保険組合連合会 理事宛
- ・株式会社日本総合研究所 経済財政諮問会議 委員宛

5. 情報の公表について

当学会の活動の設立および各種事業の公表を目的としたツールとして「ホームページ」の製作を行った。製作については、株式会社 Kae マネジメントが行い、管理運営をしている。

6. 理事会および総会など

2016 年 1 月 20 日 設立時総会を実施 (アリアル五反田駅前会議室)

2016 年 5 月 21 日 設立総会を実施 (アリアル五反田駅前会議室)

2017 年 2 月 17 日 第 2 回 理事会開催 (アリアル五反田駅前会議室)

2017 年 3 月 10 日 第 1 回 総会開催 (アリアル五反田駅前会議室)

※代議員制のため、理事及び代議員により開催

7. 決算報告および予算計画について

第 1 期決算報告および第 2 期事業計画、予算計画については 2017 年 2 月 17 日開催理事会にて承認、2017 年 4 月 10 日開催の総会にて決議。

8. その他

事業報告の内容を補足する重要な事項については特になし

一般社団法人 日本薬局経営学会
(自 平成28年1月1日 至 平成28年12月31日)

【貸借対照表】

【税込表示】

現金	1,480,440	
流動資産合計	1,480,440	
資産合計	1,480,440	
未払法人税等	11,600	
負債合計	11,600	
当期純損益		1,468,840
純資産合計		1,468,840

【損益計算書】

【税込表示】

入会金	1,080,000
年会費	800,000
懇親会費	40,000
売上総利益	1,880,000
外注費	194,400
会議費	70,128
消耗品費	5,044
支払手数料	1,512
販売管理費合計	271,084
営業損益金額	1,608,916
受取利息	4
繰延資産償却	128,480
経常損益金額	1,480,440
税引前当期純損益金額	1,480,440
法人税および事業税	11,600
当期純利益	1,468,840

	入会金	年会費
個人	230,000	230,000
法人	800,000	480,000
賛助	50,000	50,000

【細目】

【税込】

創業費・開業費	定款認証代	53,000
(繰延資産償却)	収入印紙代	600 (登記簿取得)
		60,000 (登記)
	銀行カード	1,080
	印鑑関係	13,800
外注費	ホームページ	194,400
会議費	総会会場	23,328
	懇親会費	46,800
消耗品費	名刺代	5,044
支払手数料	振込手数料	1,512

様式 5

監 事 監 査 報 告 書

一般社団法人日本薬局経営学会
代表理事 徳吉 淳一 殿

私は、一般社団法人日本薬局経営学会の平成28年度（平成28年1月1日から平成28年12月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

平成29年 3月 5日

一般社団法人日本薬局経営学会
監事 丸野 桂太郎 印

【第2期 日本薬局経営学会 事業計画について】

当学会の目的、ビジョンを以下の3つと定め深堀をしていく。

- ① 保険薬局の価値の創出
- ② 保険薬局経営の健全化
- ③ 社会保障制度への提言

《会議および集会関係》

- 理事会の開催
平成29年11月 開催予定
・来期事業計画案および予算計画案の策定
- 定時総会の開催
平成30年3月 開催予定
・事業計画および予算計画の承認
- 各種会議および地方会
・必要に応じて各種運営に伴う会議の開催を行う
・会員の属する地域での会員増加を目指し有志による地方会を開催（不定期）
・当学会の目的である「社会保障制度への提言」を行うべく、講師を招聘した意見交換会の実施を行う。（平成29年3月9日健康保険組合連合会 幸野氏 意見交換会）

《調査研究事業》

- 毎年度年2回の実施を行う
・4月末より5月初旬、9月と年2回、会員に「アンケート項目希望調査」を行う
・集計後、調査分析委員によって選別、調査を行う

《経営支援活動》

- 当期より、各会員の経営支援に役立つ活動をスタートする。第一の取り組みとして採用活動の支援を目的とした「インターンシップ支援活動」、「中小企業の新卒研修支援活動」を計画。事業チームを立ち上げ、来年度からの開始を計画。「インターンシップ支援活動」については、「一般社団法人日本薬学生連盟」との連携を計画。当団体として協賛も視野に入れることを検討。

一般社団法人 日本薬局経営学会

(自 平成29年1月1日 至 平成30年12月31日)

■ 第2期 予算案

収入の部				支出の部			
科目	適用	第1期	第2期	科目	適用	第1期	第2期
		実績	予算案			実績	予算案
【入会金】				【会議費】			
個人	@10,000	230,000	50,000	会場代		23,328	50,000
法人	@50,000	800,000	250,000	懇親会費		46,800	
賛助会員	@50,000	50,000	50,000				
【年会費】				【消耗品費】			
個人	@10,000	230,000	280,000	名刺代		5,044	10,000
法人	@30,000	480,000	630,000	発送備品等			50,000
賛助会員	@50,000	50,000	100,000	【外注費】			
【諸収入】				ホームページ制作		194,400	
懇親会費		40,000		修正・更新費用			20,000
				【支払手数料】			
				振込手数料		1,512	4,500
				【諸謝金】			
				意見交換会講師			100,000
				【顧問料】			
				税理士事務所			150,000
				【寄付金】			
				薬学生連盟等			200,000
収入合計		1,880,000	1,360,000	支出合計		271,084	584,500

※ 懇親会を行った際の収支の計上については第2期より行わないものとします。

【予算案について】

第2期予算案は上記のようになります。支出の部において、当学会は創業期のため各事務所経費や人件費、打ち合わせに対する移動費等、有志の会員によって無償で行われております。そのため、収入の部に対し、支出の部が過少な予算計画となっております。経費の支出規定等につきましては、次回総会にて議題として皆様へ協議し取り決めを行いたいと考えております。

	第1期			第2期		
	積立金	取り崩し	残高	積立金	取り崩し	残高
個人	230,000		230,000	50,000		280,000
法人	800,000		800,000	250,000		1,050,000
賛助会員	50,000		50,000	50,000		100,000
合計	1,080,000	0	1,080,000	350,000	0	1,430,000

【入会金の取り扱いについて】

入会金については、今後開催されるであろう記念式典やイベント等に充当するための積立金(貯蓄金)として管理をさせていただきます。